

トヨタ純正

チャイルドシート

取扱書

型式 7D5340



このたびはトヨタ純正チャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございました。



本品は、自動車事故の場合などの際にお子様を衝撃から守ったり、衝撃を緩和することを目的につくられたチャイルドシートです。

お子様の安全のためにご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。

本書は紛失しないようお車の中に保管してください。

本品を他のお客様にお譲りになるときは必ず本書も合わせてお渡してください。

1	ご使用にあたって	— 2
---	----------	-----

2	ご使用上の注意	— 4
---	---------	-----

3	各部の名称	— 7
---	-------	-----

4	車両へ取付ける前に	— 8
---	-----------	-----

5	車両への取付け 車両シートベルトで固定する場合	3点式シートベルトの場合 — 10
		2点式シートベルトの場合 — 14

6	お子様の座らせかた	— 18
---	-----------	------

7	ベルト位置(スライドヘッドレスト)の調節方法	— 19
---	------------------------	------

8	リクライニングの調節方法	— 19
---	--------------	------

9	チャイルドシートのお手入れ	— 20
---	---------------	------

警告表示について

この取扱書では安全にご使用いただくため、特にお守りいただきたいことなどを次のマークで表示しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

- ⚠ **警告** ……記載事項を守らないと生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあるもの。
- ⚠ **注意** ……記載事項を守らないと、傷害、事故またはチャイルドシートの破損につながるおそれがあるもの。

その他の表示について

《完了チェック》……安全のため、最後に必ず確認していただきたいことを記載しております。

- 👉 **アドバイス** ……この用品のために守っていただきたいこと、およびより安全、快適にご使用いただくうえで知っておくと便利なことを記載しております。

- イラストの中で使用されている×の記号は、図示されている行為の禁止を示しています。

安全にご使用いただくために、必ず次の条件をお守りください。

ご使用いただけるお子様

体 重 — 9kg～18kg以下
参考身長 — 75cm～105cm以下
参考年齢 — 9ヶ月～4才



⚠ 警告

- 左記の条件を満たさないお子様にはチャイルドシートを使用しないでください。
後向きには絶対に使用しないでください。万一のとき、チャイルドシートの効果が発揮できず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

👉 アドバイス

- 体重9kg未満のお子様にはベビーシート、体重18kg以上で身長100cm～135cmのお子様にはジュニアシートをご利用ください。

この様な車両シートベルトの種類、座席には使用しないでください。

⚠ 警告

- 本品は汎用型チャイルドシートであり、チャイルドシートの型式指定基準に適合しておりますが、車両シートベルトの種類やシートの形状などにより、確実にチャイルドシートを固定できない場合は使用しないでください。確実に固定できないと、衝突や急ブレーキの際にチャイルドシートが移動するなどして十分な効果を発揮せず命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。なお、不明な点は巻末の問い合わせ先または、販売店にお問い合わせください。

●車両シートベルトの種類

※車両シートベルトの種類の詳細は「車両シートベルトの種類(P6)」を参照してください。

○:取付できる ×:取付できない (右図参照)

	巻 取 装 置 付				オートマチック	非ロック式	巻取装置なし
	肩ベルト付 ELR(緊急) ロック付	肩ベルト付 ELR(緊急) ロック付	肩ベルト付 ALR(自動) ロック付	肩ベルト付 ALR(自動) ロック付	ロック付	ロック付	ロック付
2点式	×	×	○	○	×	○	○
3点式	○	×	○	×	×	○	○

●緊急ロック式巻取り装置付2点式シートベルトの座席



●3点式シートベルトの腰部取付け部が巻取り装置付の座席 肩部



〈参考〉
一般的な3点式シートベルトでは腰部の取付けは固定されています。

●オートマチックシートベルトの座席

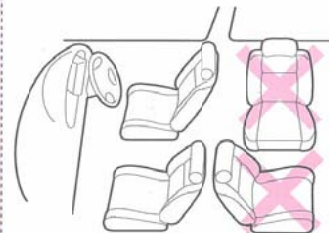
座席に座ってドアを開けると自動的にシートベルトが装着されドアを開けると自動的に外れるシートベルト。

●チャイルドシートの底面の前後端が車両シート座面に接しない場合または安定しない座席



- シートベルトの無い座席
- チャイルドシートが固定できない座席
- 車両シートベルトのバックルを三回転させてもバックルの位置が高い座席

●進行方向に対し横向き、後向き座席



●SRSエアバッグが装備された座席 (SRSサイドエアバッグは除く)

やむをえず、SRSエアバッグが装備された座席にチャイルドシートを取付ける場合は、シートの前後位置調整をいちばん後ろの位置にした上で本書「5.車両への取付け」に従って取付けてください。(ただし、お子様が前向き取付けの条件を満たしている場合に限り。)チャイルドシートは後席に取付けるのが安全と言われています。

2 ご使用上の注意

警告

- お子様が進んでいるときは、必ず保護者の方が付き添ってください。決してお子様をチャイルドシートに座らせたまま自動車から離れないでください。炎天下などで車内が高温になり、死亡につながるおそれがあり危険です。



- 事故などにより衝撃を受けたチャイルドシートは使用しないでください。万一のとき、十分な効果を発揮しないおそれがあり危険ですので必ず新しいチャイルドシートに取り替えてください。



- チャイルドシートはお子様を乗せないときでも、安全のために車両シートベルトで固定してください。固定しないと衝突や急ブレーキの際にチャイルドシートが移動して、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。また、荷物をチャイルドシートの上に乗せないでください。



- 後席に乗員を乗せる場合は、2ドアや3ドア車両などの後席にドアが無い車の前席、1ボックスなどの後席乗員の乗降に支障となる座席にはチャイルドシートを取付けないでください。後席の乗員が緊急脱出の際に支障となる場合があります。



- チャイルドシートを取付けるときはベース周辺に異物が無いことを確認して使用してください。また、シートベルト等かみ込まないよう使用してください。異物やシートベルト等をかみ込むとチャイルドシートが固定されず、衝突したときなどに重大な傷害を受けることがあります。

- 車両シートベルトおよびチャイルドシートのベルトを傷けないようにご注意ください。万一のとき、ベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあり危険です。少しでも傷ついた場合は使用しないで新しいベルトに取り替えてください。



- チャイルドシートにお子様を乗せてご使用になるときは、バックルを外さないでください。外すと万一のとき、生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



- 走行中およびご使用中はお子様が悪く車両シートベルトやチャイルドシートのバックルボタンを押してベルトを外したり、ベルトから抜け出すことのないよう、細心の注意をはらってください。万一のとき、生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



- 本書に記載された以外の方法で絶対に取付けしないでください。正しく取付けないと衝突したときなどにチャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- チャイルドシートの表皮、カバー類は取り外して使用しないでください。
- 本チャイルドシートの表皮、カバー類は指定以外のものと取り替えて使用しないでください。

警告

- チャイルドシートに日光が当たると金属部や樹脂などが熱くなり、部品に触れるとやけどをするおそれがあり危険です。熱くないことを確認のうえ、ご使用ください。



- 走行中はチャイルドシートの調節や操作をしないでください。走行中に行くと運転の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



- チャイルドシートを助手席に取付けた場合チャイルドシートとシフトノブやサイドブレーキが干渉する場合があります。もし、干渉する場合は、助手席での使用をやめ後席で使用してください。



- 走行中、停車中ともお子様をチャイルドシートの上に立たせたり、中腰、正座の状態で使用しないでください。お子様がチャイルドシートより落ちてケガなどをするおそれがあり危険です。



- 車両シートベルトで固定する場合、ご使用中車両シートベルトがゆるむなどしてチャイルドシートの固定があまくなる場合があります。時々点検し、ゆるくなった場合は再度取付け直してください。そのままご使用になると万一のとき、チャイルドシートの効果を発揮しないおそれがあり危険です。(確認、取付けは停車し、安全な状態で行ってください。)



- 安全のため、走行中はお子様をチャイルドシートから、降ろさないでください。走行中に行くと万一のとき、生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



- SRSサイドエアバッグが装備された車両では前席に前向きに取付けられた場合お子様がフロントドアにもたれかからないようにしてください。SRSサイドエアバッグがふくらんだときの衝撃で生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



- お子様をチャイルドシートをご使用中は、お子様に固いもの、鋭利なもの等危険なものを絶対に持たせしないでください。わずかな衝撃でも生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 車の座席にクッション、座ふとんなどを敷いたままでチャイルドシートを使用しないでください。また、クッション材をチャイルドシートの調整用として使用しないでください。



- 事故などにより、傷害を与えるような物を固定しない状態でお車の中に放置しないでください。万一のとき、お子様にあたり、ケガなどをするおそれがあり危険です。
- 本書に記載された以外の分解、構成部品を取外した状態での使用、本品指定以外のものとの交換等の改造は絶対にしないでください。衝突などのとき十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

注意

- このチャイルドシートは自動車専用ですのでお部屋などでは使用しないでください。
- 長時間屋外にチャイルドシートを放置しないでください。チャイルドシートの機能を損ねる原因となります。
- 食べ物、飲物をチャイルドシートにこぼさないように注意してください。故障の原因となります。
- 後席にチャイルドシートを取付け、お子様を座せた場合は、その前席に座る方は、シートスライド、リクライニングをお控えください。万が一シートスライド、リクライニングをする際は、お子様の足にぶつかることのないよう十分ご注意ください。
- チャイルドシートを車両の可動部分（シートやドア）で挟んだりしないよう十分ご注意ください。チャイルドシートが損傷するおそれがあります。

車両シートベルトの種類

- シートベルトの種類により取付け方法が異なります。チャイルドシートを正しく安全に使用されるためにお客様の車両のシートベルト種類を確認して頂き、それぞれの種類に合った取付け方法で装着してください。使用できる車両は巻末の問い合わせ先または、販売店にお問い合わせください。

シートベルトの種類	特徴	取付け
ELR（緊急ロック式ベルト巻取り装置）付3点式シートベルト	通常時には、ベルトが自由に引き出し巻取りでき、急ブレーキ等の衝撃を感知したときにベルトがその時点でロックされます。	車両シートベルトだけでチャイルドシートはしっかり固定できません。チャイルドシート装着時、前向きの場合はベースクリップでベルトをしっかり固定してください。（取付けかたは「5 車両への取付け」P10、11、12、13を参照）
ALR（自動ロック式ベルト巻取り装置）付2点式シートベルト	ベルトを引き出す途中（任意の位置）で止めると自動的にロックされ、それ以上引き出せなくなります。	チャイルドシートを固定するのに必要な長さのシートベルトを一気に引き出して巻取りながら固定してください。（取付けかたは「5 車両への取付け」P14、15、16、17を参照）
ALR/ELR（チャイルドシート固定機構）付3点式シートベルト	ELR付3点式シートベルトにチャイルドシート固定用にALR機構を備えたものです。	車両シートベルトだけでチャイルドシートはしっかり固定できません。装着の際は上記ELR付3点式シートベルトと同じ方法で、前向きの場合はベースクリップでベルトをしっかり固定してください。（取付けかたは「5 車両への取付け」P10、11、12、13を参照）
ALR（自動ロック式ベルト巻取り装置）付3点式シートベルト	ベルトを引き出す途中（任意の位置）で止めると自動的にロックされ、それ以上引き出せなくなります。	
NLR（非ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト	ロック機構がなく、ベルトを全部引き出した状態で体格に合わせてベルトの長さを調節します。	巻取り装置からシートベルトを全部引き出し、チャイルドシートに合わせてシートベルトの長さを調節し固定してください。（取付けかたは「5 車両への取付け」P10～17を参照）
マニュアル式シートベルト	巻取り装置がなく、体格に合わせてベルトの長さを調節するシートベルトです。	チャイルドシートに合わせてシートベルトの長さを調節し固定してください。（取付けかたは「5 車両への取付け」P10～17を参照）

緊急の場合には

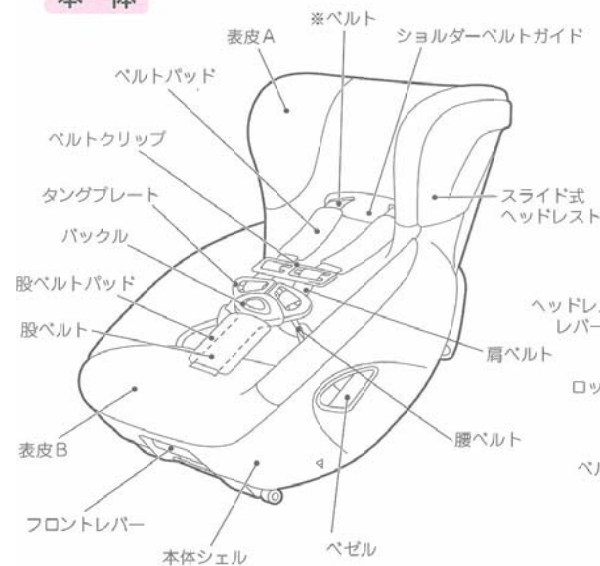
緊急時にはあわてずに下記方法ですみやかにお子様を救出してください。

- バックルのボタンを指で強く押し、左右のタングプレートとバックルから離し、お子様を降ろしてください。
- バックルから左右のタングプレートが抜けるときには、チャイルドシートの肩ベルトを刃物等で切り、お子様を降ろしてください。

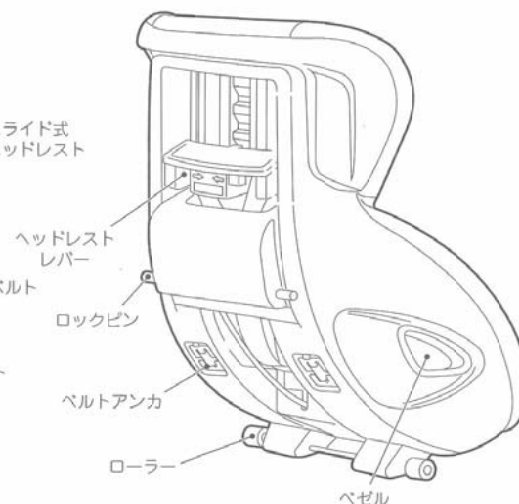


3 各部の名称

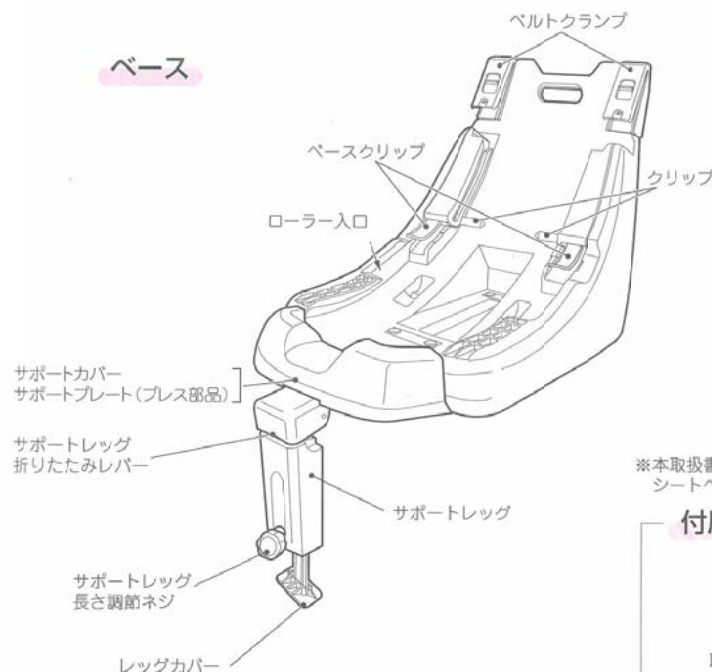
本体



本体(裏側)



ベース



警告

- ベースの部品交換はしないでください。チャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

注意

- サポートカバーとサポートプレートは必ずセットで使用してください。サポートカバーをはずして使用するとチャイルドシートの機能を損ねる原因となります。

※本取扱書ではチャイルドシートに使われているシートベルトは「ベルト」と表現しています。

付属品



取扱書（本書）

アドバイス

- 取扱書をご使用にならないときは、大事な備品であるため紛失しないように大切に保管してください。

8 4 車両へ取付ける前に

⚠ 警告

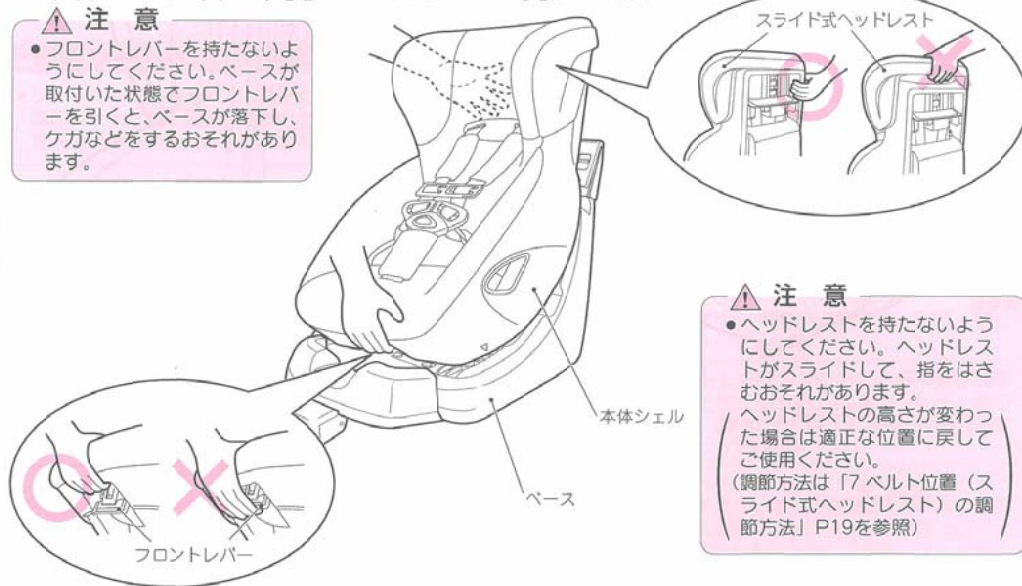
- 各機能の取付け、取り外しおよび調節は、必ず停車中に行ってください。走行中に行くと運転の妨げとなり、思わぬ事故の原因となります。

1. チャイルドシートの持ちかた

本体シェル部を両手でしっかりお持ちください。

⚠ 注意

- フロントレバーを持たないようにしてください。ベースが取付いた状態でフロントレバーを引くと、ベースが落下し、ケガなどをするおそれがあります。



⚠ 注意

- ヘッドレストを持たないようにしてください。ヘッドレストがスライドして、指をはさむおそれがあります。ヘッドレストの高さが変わった場合は適正な位置に戻してご使用ください。(調節方法は「7 ベルト位置 (スライド式ヘッドレスト) の調節方法」P19を参照)

2. 取付け前の準備

本体のベースからの取り外しかた

- ① フロントレバーを引き上げながら、本体を上方へスライドさせ、ロックピンをベースから外してください。
- ② 本体を手前に引き上げ、取り外してください。



⚠ 注意

- 車両シート等の上にチャイルドシートを確実に置いてから、本体をゆっくりベースから取り外してください。ベースが安定しない状態でフロントレバーを引くとベースが落下し、ケガなどをするおそれがあります。

9 3. サポートレッグの開き方、収納の仕方

1. サポートレッグの開きかた

ベースからサポートレッグを開きます

- ① 片手でベースを支えながら、ベースの後方のみを (サポートレッグが車両シート等に乗らないよう) 車両シート等の上に確実に置いてください。
- ② ベースを支えた状態で、サポートレッグ折りたたみレバーを押し、サポートレッグを「カチッ」と音がするまで確実に広げてください。



⚠ 警告

- サポートレッグが確実に開いていることを確認してください。確実に開いていないと、サポートレッグが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

- サポートレッグ折りたたみレバーを押すとき、ベース、サポートレッグの下に手足や物を置かないでください。置くとサポートレッグが開くとき手 (指) をはさんんだり、足や物などにあたりケガなどをするおそれがあります。

2. 収納の仕方

- ① 片手でベースを支えながら、サポートレッグ折りたたみレバーを押し、「カチッ」と音がするまで確実に折りたたんでください。



4. ベルトクランプの使いかた

⚠ 警告

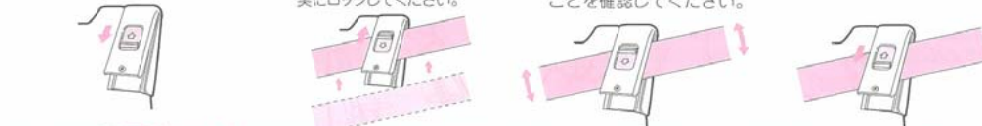
- ベルトクランプはチャイルドシートを車両シートベルトで固定するためのものです。3点式シートベルトで固定する場合は、必ずベルトクランプに車両シートベルトをクランプして使用してください。使用しないと、衝突や急ブレーキの際に、チャイルドシートが固定されず、十分な効果を発揮しないおそれがあります。

⚠ 注意

- ベルトクランプはチャイルドシートを固定する目的以外では使用しないでください。また、車両シートベルト以外のものをクランプさせないでください。チャイルドシートや車両シートベルト以外のクランプしたものを損傷するおそれがあります。

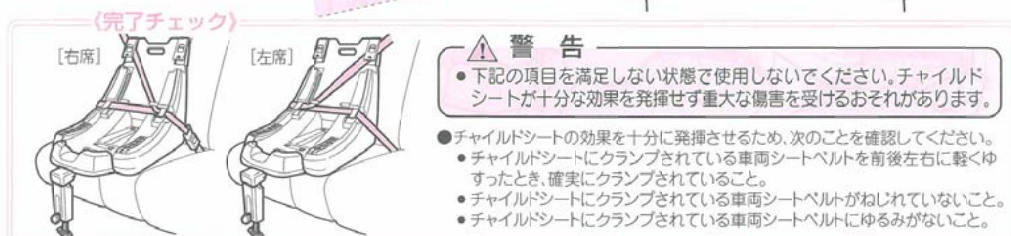
クランプの方法

- ① ベルトクランプレバーを下げ、クランプを解除してください。
- ② 車両シートベルトを下図のように通し、ベルトクランプレバーを上げ、車両シートベルトを確実にロックしてください。
- ③ ベルトを前後左右に軽く引っ張り、車両シートベルトがロックされていることを確認してください。



クランプの解除方法

- ① ベルトクランプレバーを下げクランプを解除してください。



⚠ 警告

- 下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。チャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

- チャイルドシートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。
 - チャイルドシートにクランプされている車両シートベルトを前後左右に軽くゆすったとき、確実にクランプされていること。
 - チャイルドシートにクランプされている車両シートベルトがねじれていないこと。
 - チャイルドシートにクランプされている車両シートベルトにゆるみがないこと。

5 車両への取付け -3点式シート

安全にご使用いただくために、必ず次の条件をお守りください。

警告

- ご使用前に取付け可能な座席であることおよびお子様が使用条件を満たしていることを必ず確認してください。（「1 ご使用にあたって」P2.3を参照）
- SRSエアバッグが装着されている座席では、車両のシートを一番後ろの位置へ調節してご使用ください。エアバッグがふくらんだときの衝撃で生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあります。

アドバイス

- 万一のとき、後席の方がより安全と言われていますので、後席への取付けをおすすめします。



1. ベースの車両シートへの取付けかた

ベースの置きかた

- ベースの前端が車両シート座面に接するようにしてください。
- ベースの上端部背面が車両シートバックにすき間なく接するようにしてください。（リクライニング付シートの場合は車両シートバックに接するようリクライニング調節してください。）

2. サポートレッグの使いかた

警告

- サポートレッグはチャイルドシートが十分な効果を発揮するためのものです。車両に取付ける際、必ずサポートレッグを使用してください。使用しないと、衝突や急ブレーキの際にチャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ご使用前にチャイルドシートを取付ける座席の脱着可能なフロアマットは外してください。外さずにサポートレッグを使用すると、衝突したときなどにフロアマットが動きまたはすべり、チャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

1. サポートレッグの開きかた

ベースからサポートレッグを開きます

- ① 片手でベースを支えながら、ベースの後方のみを（サポートレッグが車両シート等に乗らないよう）車両シート等の上に確実に置いてください。
- ② ベースを支えた状態で、サポートレッグ折りたたみレバーを押し、サポートレッグを「カチッ」と音がするまで確実に広げてください。



注意

- ベースが倒れないよう、確実に片手でベースを支えてください。支えないとベースが倒れたり、落下などをし、ケガなどをするおそれがあります。

警告

- サポートレッグが確実に開いていることを確認してください。確実に開いていないと、サポートレッグが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

注意

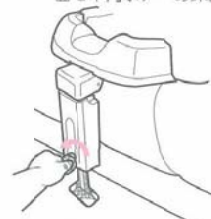
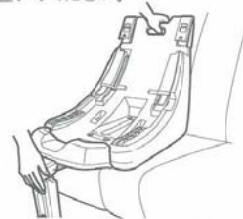
- サポートレッグ折りたたみレバーを押すとき、ベース、サポートレッグの下に手足や物を置かないでください。置くとサポートレッグが開くとき手（指）を挟んだり、足や物などにケガなどをするおそれがあります。

ベルトの場合

2. サポートレッグの高さ調節

車両の座席の高さに合わせ、サポートレッグの高さを調節してください。

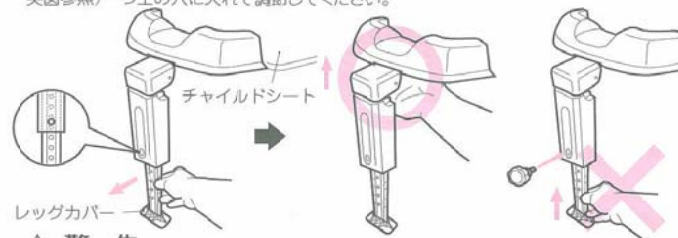
- ① サポートレッグが開いた状態でベースを固定する車両シートの上に置いてください。
- ② サポートレッグの高さ調節ネジを外してレッグカバーの底面を車両ボデーの床面に当ててください。



注意

- サポートレッグの高さ調節ネジを外すとき、レッグカバーをしっかりと持ちください。レッグカバーを持たないと落下し、ケガなどをするおそれがあります。

- ③ サポートレッグを手前に引いて確実に開いているのを確認し、レッグカバー底面と車両ボデー床面を当てた状態でサポートレッグ長さ調節ネジを確実に固定してください。調節ネジ穴が合わず調節ネジが入らない場合、チャイルドシート先端部を少し上げた状態にして（下中央図参照）一つ上の穴に入れて調節してください。



警告

- サポートレッグ固定後は、車両のシートスライドは行わないでください。サポートレッグの変形などにより、チャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

警告

- 車両シート座面と車両ボデー床面との長さが長く高さ調節ネジで固定できない場合、チャイルドシートを使用しないでください。長さ調節ネジで固定しなかったり、サポートレッグのレッグカバー底面と車両ボデー床面が接しない状態でチャイルドシートを使用すると衝突したときなどにチャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

3. 車両シートベルトでの固定の仕方

- ① 車両のタングプレートを車両のバックルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
- ② 車両シートベルトをベース両側のベースクリップに差し込んでください。



- ③ ベースを手やひざで上から押さえ付けながら車両シートベルトを引上げ、車両シートに密着させてください。
- ④ 車両シートベルトがゆるまないように注意して、車両バックル側のクリップ、ベルトクランプに下図のように差し込んでください。



警告

- クリップに車両シートベルトを差し込んだ後、上図矢印方向に車両シートベルトを強く引張らないでください。クリップが変形し、万一のとき十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ⑤ 車両シートベルトがゆるまないように注意してベルトをベルトクランプに挟んだままベルトクランプレバーを上げロックしてください。



アドバイス

- リクライニング付車両シートの場合は、リクライニングさせた状態で車両シートベルトをセットした後、リクライニングを元に戻すとしっかりと固定できます。

- ⑥ ALR/ELR付シートベルト、ALR付シートベルトの場合は車両シートベルトが止まるまでゆっくりと引出した後、チャイルドシートをしっかりと固定できるように車両シートベルトを巻き取ってください。(車両シートベルトが引らせないことを確認してください。)

警告

- 車両のバックル位置が高く、しっかりと固定できない場合は調節してください。〔車両シートベルトのバックル位置が高い場合〕P12を参照)そのまま使用すると万一のとき、十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- シートリクライニングノブの下にシートベルトが入り込まないようにしてください。

- ⑦ サポートレッグのレッグカバーと車両床面が接して確実に固定されているか確認してください。接していない場合は、サポートレッグの高さ調節をやり直してください。(「2 サポートレッグの使い方」P10、11参照)

車両シートベルトのバックル位置が高い場合

チャイルドシートをしっかりと固定できない場合は次の要領で調節を行ってください。

- 前席へ取付ける場合(助手席SRSエアバッグが装備されていない座席のみ) 車両シートを前方へスライドしてください。
- 後席へ取付ける場合 車両のバックルを回転させ位置を低くしてご使用ください。(ただし、四回転以上回転させないでください。)



警告

- 車両バックルを回転させることができない場合、三回転させても位置が高くしっかりと固定できない場合はチャイルドシートを使用しないでください。そのまま使用すると万一のとき、十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- チャイルドシートの取付け以外では車両シートベルトをねじって使用しないでください。万一のとき、車両シートベルトの効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- サポートレッグ固定後は、車両シートをスライドさせないでください。

完了チェック



警告

- 下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。チャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- チャイルドシートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。
 - ベースの上部に前後左右に力をかけ、ゆずってみたとき安定していること。
 - ベルトクランプがロックされていること。
 - シートリクライニングノブの下にシートベルトが入り込んでいないこと。
 - 車両シートベルトがねじれていないこと。(ただし、上記の場合は除きます。)
 - サポートレッグが確実に開いていること。(誤って車両のシートをスライドさせた場合も再度確認してください。)
 - サポートレッグのレッグカバー底面と車両ボデー床面が確実に接していること。

4. 本体の取付けかた

- ① 本体のローラー(黄色)をベースのローラー入口に挿入してください。



- ② 本体のフロントレバーを引き上げながら、ロックピンをベースのロックピン入口に挿入してください。



注意

- 本体取付け時、フロントレバーを引いている手がサポートカバーにあたらないよう注意してください。手等をクガすおそれがあります。

完了チェック



警告

- 下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。チャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- チャイルドシートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。
 - チャイルドシートの上部に前後左右に力をかけ、ゆずってみたとき安定していること。
 - お子様が座っても車両シートベルトにゆるみがないこと。(「6 お子様の座らせかた」P18を参照)
 - ローラー(黄色)がベースの上に乗りに上げていないこと。(ベースの外側から見えないこと。)
 - 本体のロックピンがベースに確実にロックされていること。

5 車両への取付け

-2点式シート

安全にご使用いただくために、必ず次の条件をお守りください。

警告

- ご使用前に取付け可能な座席であることおよびお子様が使用条件を満たしていることを必ず確認してください。（「1 ご使用にあたって」P2.3を参照）
- SRSエアバッグが装着されている座席では前向きの場合、車両のシートを一番後ろの位置へ調節してご使用ください。エアバッグがふくらんだときの衝撃で生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあります。

アドバイス

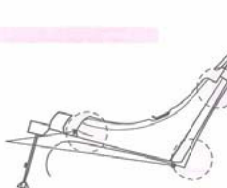
- 万一のとき、後席の方がより安全と言われていますので、後席への取付けをおすすめします。



1. ベースの車両シートへの取付けかた

ベースの置きかた

- ベース底面の前後端が車両シート座面に接するようにしてください。



- ベースの上端部背面が車両シートバックにすき間なく接するようにしてください。（リクライニング付シートの場合は車両シートバックに接するようにリクライニング調節してください。）

2. サポートレッグの使いかた

警告

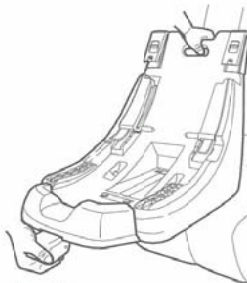
- サポートレッグはチャイルドシートが十分な効果を発揮するためのものです。車両に取付ける際、必ずサポートレッグを使用してください。使用しないと、衝突や急ブレーキの際にチャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ご使用前にチャイルドシートを取付ける座席の脱着可能なフロアマットは外してください。外さずにサポートレッグを使用すると、衝突したときなどにフロアマットが動きまたはすべり、チャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

1. サポートレッグの開きかた

ベースからサポートレッグを開きます

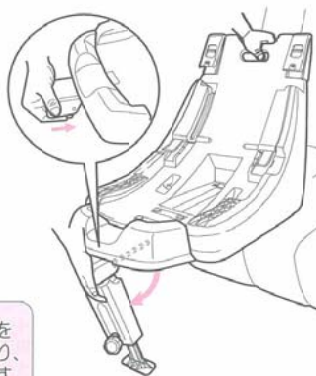
- ① 片手でベースを支えながら、ベースの後方のみを（サポートレッグが車両シート等に乗らないよう）車両シート等の上に確実に置いてください。

- ② ベースを支えた状態で、サポートレッグ折りたたみレバーを押し、サポートレッグを「カチッ」と音がするまで確実に広げてください。



注意

- ベースが倒れないよう、確実に片手でベースを支えてください。支えないとベースが倒れたり、落下などをし、ケガなどをするおそれがあります。



警告

- サポートレッグが確実に開いていることを確認してください。確実に開いていないと、サポートレッグが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

注意

- サポートレッグ折りたたみレバーを押すとき、ベース、サポートレッグの下に手足や物を置かないでください。置くとサポートレッグが開くとき手（指）をはさんだり、足や物などにあたりケガなどをするおそれがあります。

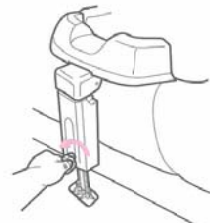
ベルトの場合

2. サポートレッグの高さ調節

車両の座席の高さに合わせ、サポートレッグの高さを調節してください。

- ① サポートレッグが開いた状態でベースを固定する車両シートの上に置いてください。

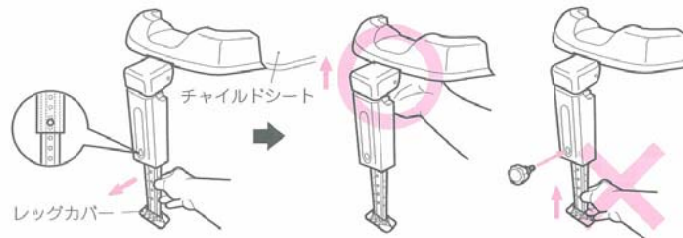
- ② サポートレッグの高さ調節ネジを外してレッグカバーの底面を車両ボデーの床面に当ててください。



注意

- サポートレッグの高さ調節ネジを外すとき、レッグカバーをしっかりと持ちください。レッグカバーを持たないと落下し、ケガなどをするおそれがあります。

- ③ サポートレッグを手前に引いて確実に開いているのを確認し、レッグカバー底面と車両ボデー床面を当てた状態でサポートレッグ長さ調節ネジを確実に固定してください。調節ネジ穴が合わず調節ネジが入らない場合、チャイルドシート先端部を少し上げた状態にして（下中央図参照）一つ上の穴に入れて調節してください。



警告

- サポートレッグ固定後は、車両のシートスライドは行わないでください。サポートレッグの変形などにより、チャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

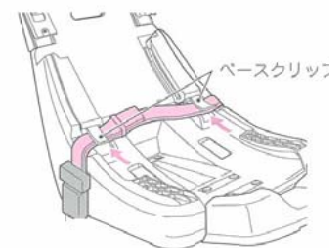
警告

- 車両シート座面と車両ボデー床面との長さが長く高さ調節ネジで固定できない場合、チャイルドシートを使用しないでください。長さ調節ネジで固定しなかったり、サポートレッグのレッグカバー底面と車両ボデー床面が接しない状態でチャイルドシートを使用すると衝突したときなどにチャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

3. 車両シートベルトでの固定の仕方

- ① 車両のタンクプレートを車両のバックルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

- ② 車両シートベルトをベース両側のベースクリップに差し込んでください。



- ③ 車両のバックルを外して車両シートベルトのゆるみをなくすよう車両シートベルトの長さを調節してください。



- ⑤ ALR付シートベルトの場合は車両シートベルトが止まるまでゆっくりと引き出した後、チャイルドシートをしっかりと固定できるように車両シートベルトを巻き取ってください。(車両シートベルトが引き出せないことを確認してください。)

- ④ ベースを手やひざで上から押さえ付けた状態で、車両のバックルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



警告

- 車両のバックル位置が高く、しっかり固定できない場合は調節してください。
(「車両シートベルトのバックル位置が高い場合」P16を参照)
そのまま使用すると万一のとき、十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ⑥ サポートレッグのレッグカバーと車両床面が接して確実に固定されているか確認してください。接していない場合は、サポートレッグの高さ調節をやり直してください。「2 サポートレッグの使い方」P14、15参照

車両シートベルトのバックル位置が高い場合

チャイルドシートをしっかりと固定できない場合は次の要領で調節を行ってください。



- 後席へ取付ける場合
車両のバックルを回転させ位置を低くしてご使用ください。
(ただし、四回転以上回転させないでください。)

警告

- 車両バックルを回転させることができない場合、三回転させても位置が高くしっかり固定できない場合はチャイルドシートを使用しないでください。
そのまま使用すると万一のとき、十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
- チャイルドシートの取付け以外では車両シートベルトをねじって使用しないでください。
万一のとき、車両シートベルトの効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

《完了チェック》

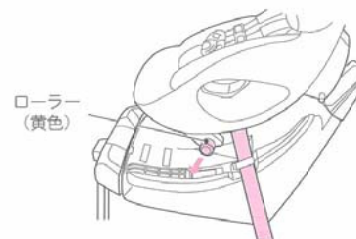


警告

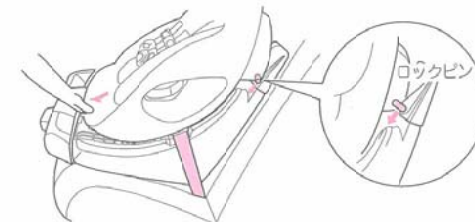
- 下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。チャイルドシートの効果が十分に発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
- チャイルドシートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。
 - ベースの上部に前後左右に力をかけ、ゆずってみたとき安定していること。
 - 車両シートベルトがねじれていないこと。(ただし、上記の場合は除きます。)
 - サポートレッグが確実に開いていること。
 - (誤って車両のシートをスライドさせた場合も再度確認してください。)
 - サポートレッグのレッグカバー底面と車両ボデー床面が確実に接していること。

4. 本体の取付けかた

- ① 本体のローラー(黄色)をベースのローラー入口に挿入してください。



- ② 本体のフロントレバーを引き上げながら、ロックピンをベースのロックピン入口に挿入してください。



注意

- 本体取付け時、フロントレバーを引いている手がサポートカバーにあたらないよう注意してください。手等をクガするおそれがあります。

《完了チェック》



警告

- 下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。チャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

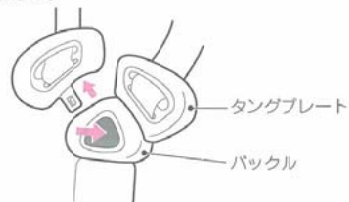
- チャイルドシートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。
 - チャイルドシートの上部に前後左右に力をかけ、ゆずってみたとき安定していること。
 - お子様も座っても車両シートベルトにゆるみがないこと。
(「6 お子様の座らせかた」P18を参照)
 - ローラー(黄色)がベースの上に乗り上げていないこと。(ベースの外側から見えないこと。)
 - 本体のロックピンがベースに確実にロックされていること。

6 お子様の座らせかた

警告

- チャイルドシートのバックルを外したままのご使用は絶対におやめください。

- ① バックルのボタンを強く押し、左右のタングプレートを外してください。



- ② お子様をチャイルドシートに深く腰かけた状態に座らせ、ベルトに左右の腕を通します。



アドバイス

- ベルトを外側に開いておくと、お子様を乗せやすくなります。

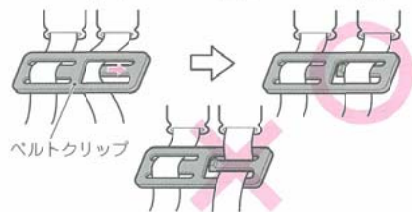
- ③ ベルトの出口がお子様の肩の高さに最も近い位置にくるよう、スライド式ヘッドレストの高さを調節してください。(「7 ベルト位置(スライド式ヘッドレスト)の調節方法」P19を参照)



警告

- 肩ベルトはお子様の体格にあわせて必ず調節してください。正しく調節しないと衝突したときなどにチャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ⑤ ベルトをベルトクリップの裏側から差し込んでください。



《完了チェック》



警告

- 下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。チャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

- チャイルドシートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。
 - バックルとタングプレートが確実に結合されていること。
 - ベルトがねじれたり、ゆるんだ状態になっていないこと。
 - ベルトパッドおよびベルトクリップが正しい位置にあること。
 - SRSサイドエアバッグが装着された座席で前向きに取付けられた場合、お子様がフロントドア付近にもたれかかれないようにしてください。
 - 腰ベルトがお子様の腰骨のできるだけ低い位置にかかっていること。

- ⑥ ベルトパッドがお子様の肩の位置にくるよう調節し、さらにベルトクリップをお子様の胸の付近にくるよう、調節してください。



7 ベルト位置(スライド式ヘッドレスト)の調節方法

警告

- ご使用時はショルダーベルトの出口が、お子様の肩の高さに最も近くなるようにスライド式ヘッドレストを必ず調節してください。不適当な位置では、万一のときにチャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。



ベルトの出口及びヘッドレストの高さは3段階に調節できます。

ヘッドレストレバー

- ① 本体裏側にあるヘッドレストレバーを押し、ロックを解除して高さを調節してください。

アドバイス

- チャイルドシートの裏側に手が入りにくい場合は、本体をベースより取り外して調節してください。

- ② 調節後ヘッドレスト部を上から押さえ、動かないことを確認してください。

8 リクライニングの調節方法

本体は2段階にリクライニングできます。



- フロントレバーを引き上げながら、リクライニング合わせマークを目安にスライドさせ、ご希望の位置でフロントレバーを放し、「カチッ」と音がすることを確認してください。

警告

- 調節後、本体を軽く前後させ確実にロックしていることを確認してください。確実にロックされていないとチャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

注意

- リクライニング調節時、フロントレバーを引いている手がサポートカバーにあたらないよう注意してください。手をケガするおそれがあります。

アドバイス

お子様の状態に合わせリクライニング調節をしてあげましょう。

リクライニングポジション



- 頭が安定し楽な姿勢でお休みいただけます。

ノーマルポジション



- 通常この位置で使います。

9 チャイルドシートのお手入れ

1. 構成部品の取り外しかた

⚠ 警告

- 下記説明以外の分解はしないでください。万一のとき、生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあります。

＜準備＞

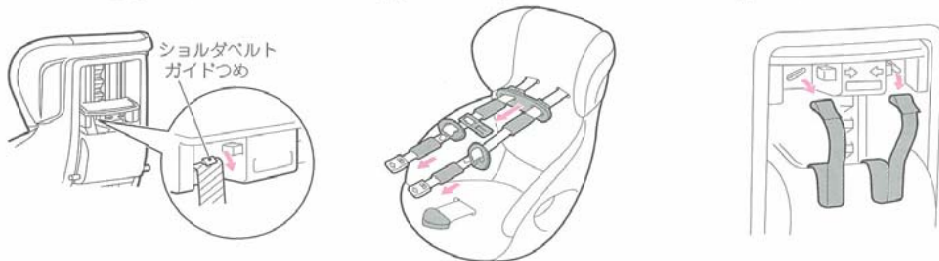
1. 本体をベースに取付けてある場合は、ベースから外してください。
2. スライド式ヘッドレストを最上段に調節してください。

1. 表皮Aの外しかた

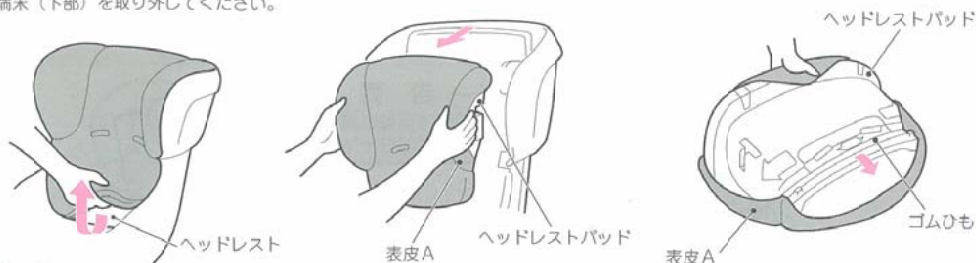
- ① 本体から左右のベルトアンカを引き抜いてください。
- ② 左右のベルトからベルトアンカを取り外してください。
- ③ 本体から左右のベルトを引き抜いてください。



- ④ 裏側のショルダベルトガイドの左右のつめを外してください。
- ⑤ 左右のベルトに通っている部品を全て外してください。
- ⑥ 裏側から左右のベルトを引き抜いてください。



- ⑦ 下側から表皮Aを取り外してください。ヘッドレストの裏側からの表皮Aの端末（下部）を取り外してください。
- ⑧ 本体からヘッドレストパッドを取り外してください。
- ⑨ ヘッドレストパッドからゴムひもを外し、表皮Aを取り外してください。



⚠ 注意

- 表皮A、ヘッドレストパッドを取り外すときはヘッドレストパッドが割れないように取り外してください。

2. 表皮Bの外しかた

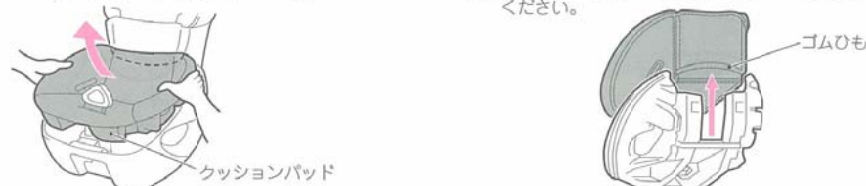
- ① 本体から左右のベルトアンカを引き抜いてください。
- ② 左右のベルトからベルトアンカを取り外してください。
- ③ 本体から左右のベルトを引き抜いてください。



- ④ 左右のベゼルを取り外してください。
- ⑤ バックルから股ベルトパッドを取り外してください。
- ⑥ ヘッドレストの裏側から表皮Bの端末を引き出してください。



- ⑦ クッションパッドを本体から外してください。
- ⑧ クッションパッドからゴムひもを外し表皮Bを取り外してください。



⚠ 注意

- クッションパッド、表皮Bを取り外すときはクッションパッドが割れないよう取り外してください。

2. お手入れ

1. 表皮、ベルトパッド、股ベルトパッドの洗いかた



- 中性洗剤で手洗いし、風通しのよい日陰に干してください。
- 十分に乾くまで使用しないでください。
- 塩素系漂白剤は色落ちするのでお使いにならないでください。
- アイロン掛けはしないでください。



2. 本体、部品類のお手入れ

- 掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
- 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを取り、水拭きしてから風通しのよい日陰に干してください。
- 十分に乾くまで使用しないでください。

⚠ 警告

- ガソリンやベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。また、ベルトを漂白したり、染めたりしないでください。チャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

3. 構成部品の組み立てかた

〈準備〉

1. 本体をベースに取付けてある場合は、ベースから外してください。
2. スライド式ヘッドレストを最上段に調節してください。

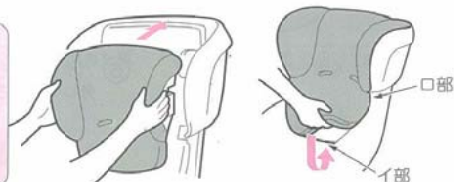
1. 表皮Aの組付けかた

- ① ヘッドレストパッド上部より表皮Aをかぶせ、ゴムひもをヘッドレストパッドの溝に引っ掛けてください。
- ② 表皮Aをかぶせたヘッドレストパッドを本体に取付けてください。
- ③ イ部から口部の方向に表皮Aを取付けてください。

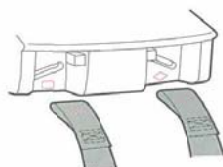


⚠ 注意

- 表皮A、ゴムひも、ヘッドレストパッドを組付けるときは、ヘッドレストパッドが割れないよう組付けてください。



- ④ 左右のベルトをマーク（「ベルトアンカの本体への取付けかた」P23を参照）に合わせ、裏側から差し込んでください。
- ⑤ 左右のベルトにそれぞれの部品を図のように通してください。（「アドバイス」P23を参照）
- ⑥ ショルダーベルトガイドの左右のつめを本体に挿入し、確実にかかるまで押し込んでください。



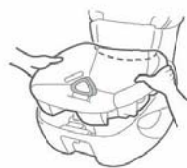
2. 表皮Bの組付けかた

- ① クッションパッドの八部に表皮Bのゴムひもを通し、二部の溝にはめ込んでください。
- ② クッションパッドの上部から表皮Bを取付けてください。
- ③ バックルを表皮Bの穴に通しながら本体に取付けてください。

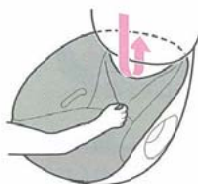


⚠ 注意

- 表皮B、ゴムひも、クッションパッドを組付けるときは、クッションパッドが割れないよう組付けてください。

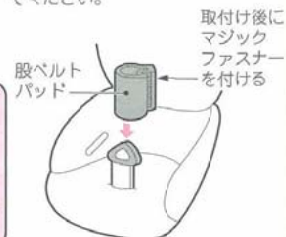


- ④ 表皮Bの後部をヘッドレスト裏側へ差し込んでください。
- ⑤ 左右の車両シートベルト通し穴ガイドを取付けてください。
- ⑥ 股ベルトパッドをバックルに取付けてください。



⚠ 注意

- ベゼルは右左専用です。組付け時に右左を間違えて組付けしないでください。チャイルドシートの効果が発揮されないおそれがあります。

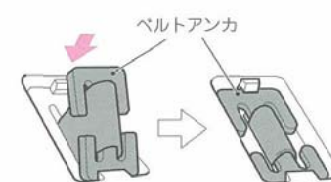
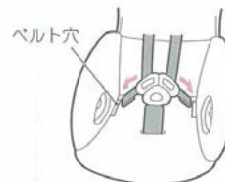


3. ベルトアンカの本体への取付けかた

⚠ 警告

- 本品は構成部品を外した状態で使用したり、本品指定以外のものと取り替えて使用しないでください。万一のとき、チャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ① クッションパッドの左右のベルト穴にベルトを裏側まで通してください。
- ② 左右のベルトにベルトアンカを図のように通し、ベルトアンカを本体に確実に押し込み取付けてください。



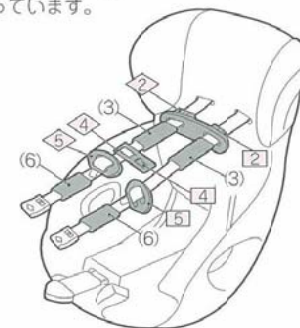
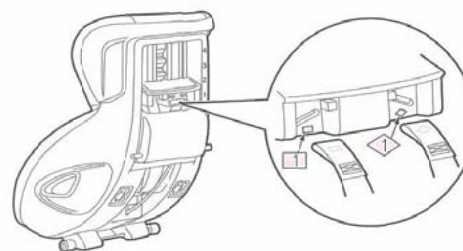
📌 アドバイス

- タングプレートをバックルに差し込んだ状態でベルトを通すとベルトのねじれが確認しやすくなります。

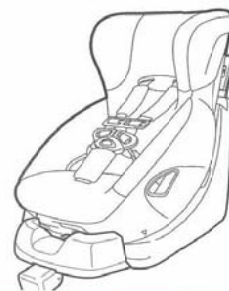
📌 アドバイス

各部品に通し番号が付いています。（ただし、ベルトパッドにはマークや番号は付いていません。）

- ベルト先端の◇□マークを各部品についている同じ形のマークの番号順に通してください。
- ベルトパッド（3.長い）は（6.短い）に比べて長さが60mm長くなっています。組み間違いないようご注意ください。



《完了チェック》

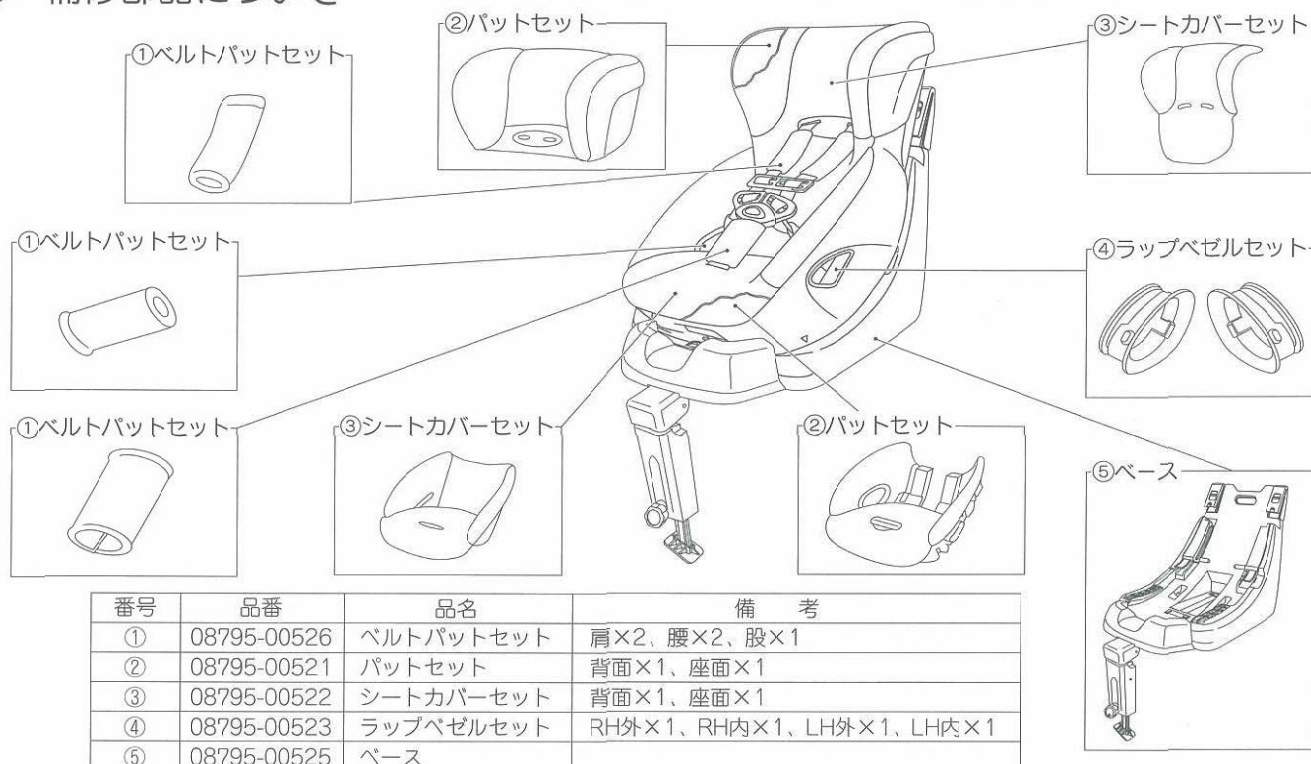


⚠ 警告

- 下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。チャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

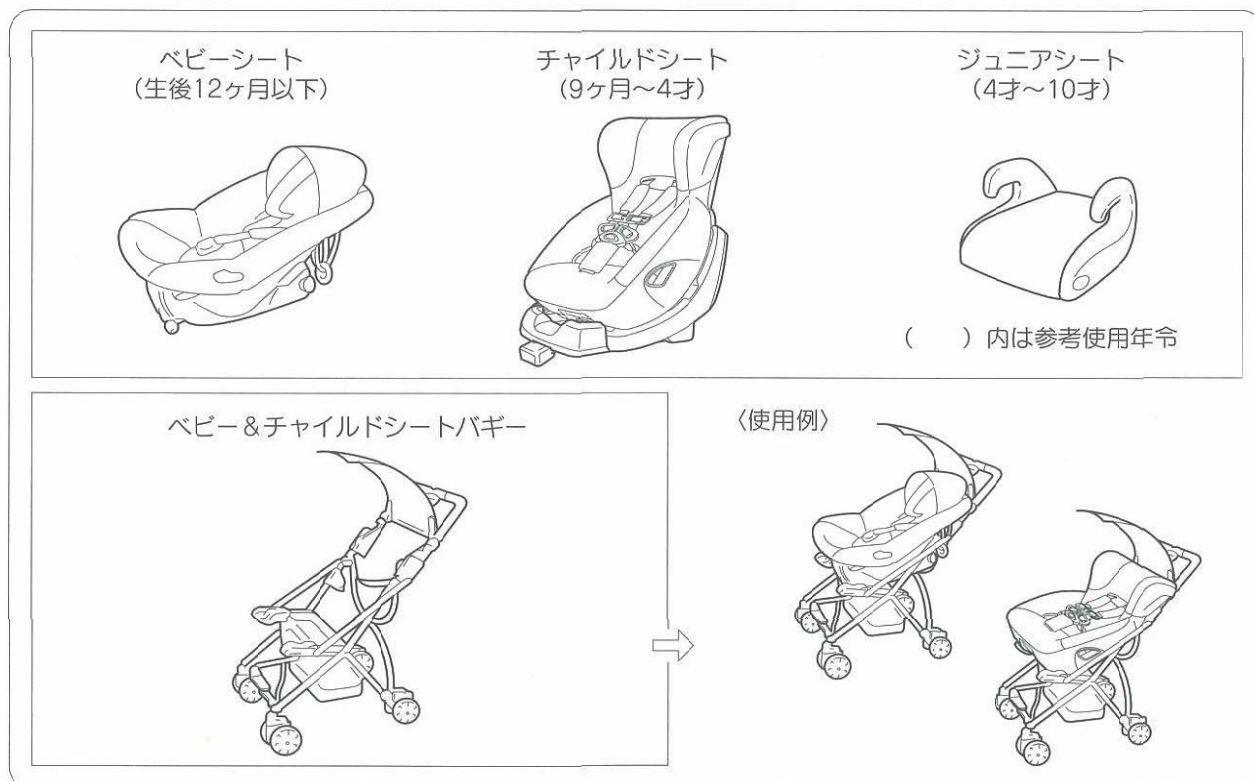
- チャイルドシートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。
 - ベルトがベルトアンカに確実に取付いていること。
 - ベルトがねじれていないこと。
 - 構成部品の取付け忘れがないこと。
 - 構成部品の取付け順序および左右の間違いがないこと。

補修部品について



ご案内

トヨタ純正〈チャイルドシートシリーズ〉では年令、体格に応じ次の商品を取りそろえております。
お客様のより安全、快適なカーライフにぜひご利用ください。



お問い合わせ・ご相談は下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社

お客様相談センター

全国共通フリーフォン

0070-800-778899

フリーフォン

〒461-8711 名古屋市東区泉一丁目23の22

オープン時間／月曜～金曜（除く祝祭日）9：00～12：00 13：00～17：00